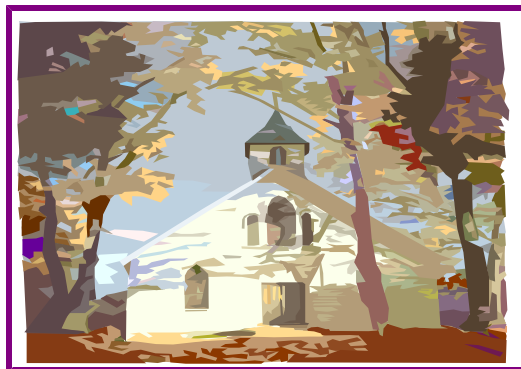


めぐみイエス・キリスト教会

2018年10月28日(日) 第四主日礼拝
週報「通算第429号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

《「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、命を失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。』》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年10月28日(第四主日礼拝)

第一礼拝 午前10時～11時

第二礼拝 午後6時～7時

司会(奏楽) 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌339「恵みの高き嶺」 p. 538

【交読文】 No.19 詩篇第51篇 p. 893

【賛美Ⅱ】 新聖歌344「なおも御恵みを」 p. 548

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉に帰ろう」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書16章12節～15節(新約p. 195)

【祈 禱】

【説 教】 《すべての真理とは?》

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱後奏】

※本日の聖書箇所(ヨハネの福音書16章12節～15節)

16:12 「私には、あなたがたに話すことがまだたくさんありますが、今あなたがたはそれに耐える力がありません。

16:13 しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。

16:14 御霊は私の栄光を現わします。私のものを受けて、あなたがたに知らせるからです。

16:15 父が持つておられるものはみな、私のものです。ですから私は、御霊が私のものを受けて、あなたがたに知らせると言ったのです。」

●ポイント1 「真理の御霊」とは？

※ヨハネの福音書14章16節～17節「もう一人の助け主を」 (新約p.192)

14:16 「私は父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、共におられるためにです。

14:17 その方は、真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたと共に住み、あなたがたのうちにおられるからです。」

●ポイント2 主イエス様が言われる「真理」とは？

※ヨハネの福音書8章31節～32節・47節前半「ユダヤ人たちへ」(新約p.176)

8:31 そこでイエスは、その信じたユダヤ人たちに言われた。「もしあなたがたが、私の言葉にとどまるなら、あなたがたは本当に私の弟子です。

8:32 そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。

8:47 神から出た者は、神の言葉に聞き従います。」

●ポイント3 「すべての真理」とは？

※ヨハネの福音書14章6節前半「トマスへの主イエス様の答え」(新約p.191)

14:6 イエスは彼に言われた。「私が道であり、真理であり、命なのです。」

※コロサイ人への手紙1章15節～18節「パウロの確信から」(新約p.357下段)

※ヨハネの黙示録22章12節～13節「ヨハネによる主の啓示」 (新約p.461)

「見よ。私はすぐに来る。私はそれぞれのしわざに応じて報いるために、私の報いを携えて来る。私はアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。初めであり、終わりである。」

◎先週のメッセージの概要【その方が来ると】

《イエス様は、弟子たちにもう一人の助け主について話されました。その方が来られるとは、誰に来るのでしょうか。残された弟子たちにです。その方とは、「私は父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、共におられるためにです。その方は、真理の御霊です。」と約束された聖霊を指し示します。

ここで大切な真理があります。その方は弟子たちを通して働かれます。そして「罪、義、さばきについて、世に誤りを認めさせる」と主は言われました。

「罪について」と言うのは、彼らがイエス様を信じ受け入れることをせず、異邦人であるローマ人に引き渡し、十字架につけることを意味しています。

イエス様の十字架の贖いの死は、神様の深い摂理の中になされました。しかしそうであっても、メシアを十字架につけたユダヤ人の罪は残るのです。

「義について」とは、イエス様が父の御もとに行き、もはや見なくなるから、と言われましたが、これは深い言い回しであって、復活と昇天を意味しています。イエス様は復活されたことによって、唯一の義人であることが証明されました。それだからこそ、『自分の罪の身代わりとなって、十字架にかかって死んで下さり、三日目によみがえられた主イエス様を信じ受け入れた者』は、父なる神様から「義」とされるのです。そして神の子どもとされるのです。

「さばきについて」とは、この世を支配する者、すなわち悪魔がさばかれた、と言うことです。実際には、この時点ではまだ未来のことになります。

悪魔は、イエス様が十字架上で命を落とされた時に、勝利したと思いましたが。しかしイエス様は三日目に復活された時に、悪魔の最後の武器である死を滅ぼされました。悪魔の最大の武器は「死」です。人は「死」を恐れます。しかし、主イエス様を信じる者には、「永遠の命」が与えられているのです。

私たちは、決して「敗北者」ではありません。神様は、主イエス様を通して圧倒的な勝利を与えて下さったのです。勝利とは何ですか。それは主イエス・キリストに対する私たちの信仰そのものなのです。このお方こそ主です。》

◎お知らせ

※次回の礼拝は、11月4日(日)です。通常通り、第一礼拝は午前10時から、そして第二礼拝は午後6時から行ないます。次回の聖書研究・祈祷会は、11月7日(水)午後6時15分からです。10月31日(水)はお休みします。

